



赤ちゃんがおなか
にいた
思い出を残す

マタニティ ヌード写真を撮ろう

妊娠中の姿をきれいに写真に残しておきたいと考えるプレママが増えています。妊娠中の今だけしか撮れない、初めての家族写真。大きなおなかのステキな一瞬を、残してみませんか？

●マタニティヌード写真を撮った
石神慶子ママにお話を伺いました！

写真を撮れたことは「幸せ」の一言。
特別な時間を、神秘的な体をプロの手で形に残せたこと、妊娠中にマタニティフォトの存在を知ったこと、「モノクロ」「ヌード」と余計なものを取り除くことで、私の周りにあるたくさんの幸せに気づくことができました。

Q.撮ろうと思ったのは、なぜ？

A.TVでマタニティフォトを観た時、きれいだと素直に感じたのがきっかけです。妊娠は、人生の中でそう何度も訪れない特別な時間。その時間を過ごす私と私の身体を、プロの手で形に残すと同時に、「新しい家族をみんなで待ってたんだよ!」という思いが表現できればいいな、と思いました。

Q.ご両親などの反対などはなかった？

A.反対はされませんが、実母は少し抵抗があるようでした。「今しかない、後悔したくない」と伝えると納得してくれました。

Q.撮影はどんな感じ？

A.スタッフの方々の、『いい写真を撮りたい』という熱意がひしひしと伝わりました。こちらの要望にも、プロならではのスパイスを加えて的確に伝えていただけました。それでいて、常にこちらの体調を気遣って短時間で撮影していただけたので、すっかりリラックスした雰囲気の中で楽しく撮影することができました。

Q.パパの感想は？

A.「ええ写真や。ほんまにええ写真や」と何度もモニターのサンプルを見ていました。

Q.できあがった写真は？

A.おなかが主張しすぎず、それでいて、写真の主役になっていて、まさに理想どおりでした。パパや上の子との自然な表情と一緒におなかを写したことで、「みんなであなたを待っていた」というメッセージを込めることができたと思います。子どもも、「赤ちゃん(お腹)にチュッてしちゃった!」と、大はしゃぎでした。

Q.赤ちゃんが大きくなったら、
写真のことをどう伝える？

A.<家族4人の初めての写真>と伝えます。「顔や身体は写ってないけど、このママのおなかの中にあなたがいたんだよ」と。パパも、私も、子どもも、このマタニティフォトを撮って初めて、新しい家族を迎える実感が湧いたように思います。



おなかにいた
赤ちゃんが生まれて、
4人家族になりました!

石神慶子ママ、教棒パパ、
龍(りゅう)くん(4歳)、
翔(かける)くん(生後2カ月)

miku's eye

02

maternity

マタニティ&
ベビーフォトスタジオ「navel」
所在地／東京都世田谷区上野毛
撮影料金や予約、問い合わせは、
ホームページから
<http://www.studio-navel.com/>